

第 6 次塩竈市長期総合計画の概要

1. 長期総合計画とは

長期総合計画の位置づけ

市政運営の指針となるもので、**行政計画における最上位の計画**

長期総合計画の役割

将来のまちづくりの方向性を示すもので、
市はもとより市民・事業者など地域の多様な担い手が役割を
分担し、共に目指すまちを創り上げていくための指針

現行の長期総合計画

第6次塩竈市長期総合計画（R4年度からR13年度）

- ・ 前期基本計画（R4年度～R8年度）
- ・ 後期基本計画（R9年度～R13年度）

2. 第6次長期総合計画（基本構想）

第6次塩竈市長期総合計画の構成

まちづくりの基本理念

『今ある個性を大切にし、みんなでつなぎ合わせて、新しい魅力を創り上げていく、未来に続くまちづくり』

序論

①本市の特性

- 人口特性：自然減による人口減少が顕著
- 地理的特性：市域が小さくかつ機能が集約したコンパクトシティ
- 産業特性：食産業の特化係数が高い

②主な時代の潮流

- 人口減少・少子高齢化社会
- 地方創生の推進
- 情報化・デジタル化の進展
- 地球環境問題の深刻化
- 新型コロナウイルス感染症による社会・経済への影響
- SDGsの取り組み推進

③まちづくりの課題

- 人口減少・超高齢社会進展への対応
- 豊かな暮らしを享受できる地域社会の構築とまちの魅力度向上
- 地域の個性を十分に活用した産業振興
- 新たな危機への対応

④まちづくりへの想い

（塩竈らしい100の暮らし）
【想い】『楽しみながらこれからも塩竈で暮らしていきたい』

【4つのまちのイメージ】

- 住んでいて心地良く、誇りを持てるまち
- 子どもたちが生き生きしているまち
- 地域特性を生かしたやりがいのあるまち
- さまざまな人たちとつながり、賑わいがあるまち

⑤まちづくりの視点

- 持続可能なまちづくり
- シビックプライド醸成

⑥まちづくりの手法

- 協働・共創のまちづくり
- 社会情勢の変化にも柔軟に対応できるまちづくり

基本構想 令和4年度～令和13年度

■目指す都市像

海と社に育まれる
楽しい
しまが
しま

■まちづくりの目標

～未来に続く8つの塩竈物語～

分野1 子ども	子どもたちの 笑いがあふれるまち	
分野2 福祉	みんなが 生き生き しているまち	
分野3 生活	快適に 住み続けられるまち	
分野4 産業	活気があり、誇り をもって働いている人が たくさんいるまち	
分野5 交流	何度でも 訪れたいまち	
分野6 文化	日常に彩りが あるまち	
分野7 協働	みんなが 主役になれるまち	
分野8 瀬戸諸島	自然と調和した 和やかな暮らしと 癒しがあるしま	

■将来人口
50,000人

（令和13年末住民基本台帳人口）

総合計画の全体像

前期基本計画 令和4年度～令和8年度



■まちづくりの方向性

- 健康やかに育つ・育てる環境づくり
- 健康で安心して暮らせる地域づくり
- 安全で安心なコンパクトさを生かした住環境づくり
- 活気に満ちた産業づくり
- 観光交流による賑わいづくり
- 生涯にわたって学びあえる風土づくり
- さまざまな個性がつながり、役割を発揮できる環境づくり
- 人々が住まい・集える持続可能な島づくり



■施策の柱

- 「妊婦」から「子育て」までの切れ目のない支援体制の構築
- 未来を担う子どもを育むための学習環境の充実
- 地域全体で子育てや教育を支える体制の充実
- みんなが生きがいを持ち安心して暮らせる支援体制の充実
- 健康増進と健康寿命の延伸による元気の創出
- 安心できる地域医療体制の充実
- 災害などに対する「強さ」と「しなやかさ」を持ち、安全・安心に生活できる都市環境づくり
- コンパクトで生活サービスが充実した「住んでいたい住んでみたいまち」の形成
- 豊かな自然と調和した環境にやさしい循環型社会の形成
- 数多くの地域資源を生かした「みやぎの台所・しまがま」の創造
- 商工業者の持続的な経営安定や事業承継・新規創業への支援の充実による地域活力の向上
- 海とみなとを生かした活力づくりや新たな産業と若者も満足できる雇用の創出
- 地域資源を最大限活用した観光メニューの創出
- 塩竈ブランドの確立とおもてなし体制の充実・広域連携による交流人口の拡大
- 豊かな歴史やこれまで培ってきた文化を未来へつなぐ取組の充実
- 生活にのびる思いを育む生涯学習・生涯スポーツの展開
- 芸術・文化・スポーツなど、各分野で活躍できる人材の育成
- 塩竈の魅力向上に向けた市民活動への支援体制の充実
- 大学や企業等との交流・連携・共創と多様化する社会への理解促進
- 効果的・効率的で透明性の高い行政経営
- 健康で安心して住み続けられる生活環境の充実
- 瀬戸諸島（瀬戸物・瀬戸産物）の産地価値強化や担い手育成による産業の振興
- 瀬戸ならではの自然や歴史・文化を生かした交流の推進

「塩竈らしい100の暮らし」からのまちのイメージ

国の第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標

- 住んでいて心地良く、誇りを持てるまち
- 子どもたちが生き生きしているまち
- 地域特性を生かしたやりがいのあるまち
- さまざまな人たちとつながり、賑わいがあるまち

1. 移りゆく地域をつくるとともに、安心して暮らせるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

期間：令和4年度～令和13年度

2. 第6次長期総合計画（基本構想）

目指す都市像



まちづくりの基本理念

**今ある個性を大切にし、みんなでつな
ぎ合わせて、新しい魅力を創り上げて
いく、未来に続くまちづくり**

塩竈は、海をはじめとした自然や豊かな歴史・文化に培われた人々の暮らしによって育まれてきました。

個性豊かで調和のとれた持続可能なまちづくりに向けて、目指す都市像に『海と社に育まれる楽しい塩竈』を掲げ多彩な魅力を生かした楽しさあふれるみなとまちを、市民をはじめとした多くの方々と共に創り上げます。

2. 第6次長期総合計画（基本構想）

まちづくりの目標と方向性

分野1 子ども	子どもたちの笑い声があふれるまち ～健やかに育つ・育てる環境づくり～
分野2 福祉	みんなが生き生きしているまち ～健康で安心して暮らせる地域づくり～
分野3 生活	快適に住み続けられるまち ～安全で安心なコンパクトさを生かした住環境づくり～
分野4 産業	活気があり、誇りをもって働いている人がたくさんいるまち ～活力に満ちた産業づくり～
分野5 交流	何度でも訪れたいまち ～観光交流による賑わいづくり～
分野6 文化	日常に彩りがあるまち ～生涯にわたって学びあえる風土づくり～
分野7 協働	みんなが主役になれるまち ～さまざまな個性がつながり、役割を発揮できる環境づくり～
分野8 浦戸諸島	自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま ～人々が住まい・集える持続可能な島づくり～

2. 第6次長期総合計画（基本構想）

将来人口推計

① 推計結果概要

年齢構成別人口・高齢化率

(人)

	実績値	推計値				
	R2 2020年	R3 2021年	R8 2026年	R13 2031年	R18 2036年	R23 2041年
年少人口	5,513	5,440	5,061	4,627	4,230	3,871
生産年齢人口	29,882	29,482	27,524	25,701	23,681	21,344
老年人口	18,079	18,074	17,993	17,682	17,329	17,044
合計	53,474	52,996	50,578	48,010	45,240	42,259
増減	—	△478	△2,418	△2,568	△2,770	△2,981
高齢化率	33.8%	34.1%	35.6%	36.8%	38.3%	40.3%
合計特殊出生率※	1.24	1.24	1.24	1.24	1.24	1.24

※合計特殊出生率：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」による数値（H20～H24）

② 近年人口推移

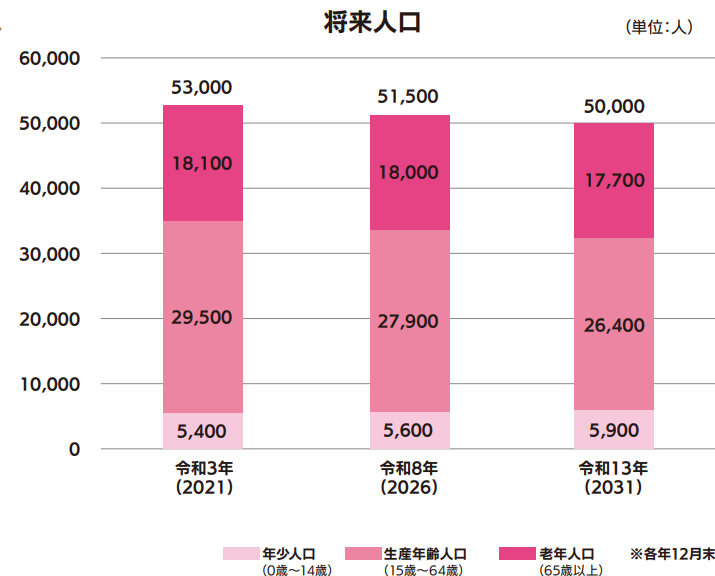
(人)

	R5	R6	R7 (6月末時点)
総人口	52,061	51,726	51,371
自然動態	▲ 582	▲ 543	▲ 341
社会動態	163	208	▲ 14
純増減	▲ 419	▲ 335	▲ 355

※住民基本台帳人口12月末

③ 将来人口

令和13年 将来人口（住民基本台帳人口12月末）			
内 訳	年少人口 (0歳～14歳)	5,900人	
	生産年齢人口 (15歳～64歳)	26,400人	
	老年人口 (65歳以上)	17,700人	



3. 第6次長期総合計画（前期基本計画）

第6次塩竈市長期総合計画の構成

まちづくりの基本理念

『今ある個性を大切にし、みんなでつなぎ合わせて、新しい魅力を創り上げていく、未来に続くまちづくり』

序論

1本市の特性

- 人口特性：自然減による人口減少が顕著
- 地理的特性：市域が小さくかつ機能が集約したコンパクトシティ
- 産業特性：食産業の特化係数が高い

2主な時代の潮流

- 人口減少・少子高齢化社会
- 地方創生の推進
- 情報化・デジタル化の進展
- 地球環境問題の深刻化
- 新型コロナウイルス感染症による社会・経済への影響
- SDGsの取り組み推進

3まちづくりの課題

- 人口減少・超高齢社会進展への対応
- 豊かさや幸せを実感できる地域社会の構築とまちの魅力度向上
- 地域の個性を十分に活用した産業振興
- 新たな危機への対応

4まちづくりへの想い

（塩竈らしい100の暮らし）
【想い】『楽しみながらこれからも塩竈で暮らしていきたい』

【4つのまちのイメージ】

- 住んでいて心地良く、誇りを持てるまち
- 子どもたちが生き生きしているまち
- 地域特性を生かしたやりがいのあるまち
- さまざまな人たちとつながり、賑わいがあるまち

5まちづくりの視点

- 持続可能なまちづくり
- シビックプライド醸成

6まちづくりの手法

- 協働・共創のまちづくり
- 社会情勢の変化にも柔軟に対応できるまちづくり

基本構想 令和4年度～令和13年度

■目指す都市像 海と社に育まれる 楽しい まちづくり



■まちづくりの目標

～未来に続く8つの塩竈物語～

分野1 子ども	子どもたちの 笑いがあふれるまち	
分野2 福祉	みんなが 生き生き しているまち	
分野3 生活	快適に 住み続けられるまち	
分野4 産業	活気があり、誇り をもって働いている人が たくさんいるまち	
分野5 交流	何度でも 訪れたいまち	
分野6 文化	日常に彩りが あるまち	
分野7 協働	みんなが 主役になれるまち	
分野8 浦戸諸島	自然と調和した 和やかな暮らしと 癒しがあるしま	

■将来人口
50,000人

（令和13年末住民基本台帳人口）

総合計画の全体像

期間：令和4年度～令和8年度



3. 第6次長期総合計画（前期基本計画）

しおがま未来創生プロジェクト

機動的・横断的に取り組んで施策連携に伴う相乗効果を発現するとともに、同時並行的に好循環を生み出します。

プロジェクトの推進による好循環のイメージ



プロジェクト 体系図

計画期間：令和4年度～令和8年度

塩原への愛着・誇りの醸成(未来創生の礎)

重要目標達成指標(KGI)		
基準値	前期計画目標値	目標値
65% (令和元年度)	70% (令和8年度)	80% (令和13年度)

(まちづくりに関する市民アンケート)

すみよさ 実感プロジェクト	よろこび 実感プロジェクト	やりがい 実感プロジェクト	にぎわい 実感プロジェクト
住みやすさを 52% ▶ 57% ▶ 70% 基準値 前期目標値 目標値	子育ての満足度を 38% ▶ 43% ▶ 50% 基準値 前期目標値 目標値	仕事の満足度を 67% ▶ 72% ▶ 80% 基準値 前期目標値 目標値	住みたいを 9% ▶ 14% ▶ 20% 基準値 前期目標値 目標値

「100の暮らし」からのまちのイメージ

1. 住んでいて心地良く、誇りを持てるまち
2. 子どもたちが生き生きしているまち
3. 地域特性を生かしたやりがいのあるまち
4. さまざまな人たちがつながり、賑わいがあるまち

国の第2期総合戦略基本目標

1. 輝く地域をつくるとともに、安心して働けるようにする
2. 地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる
3. 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
4. ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

4. 第6次長期総合計画の推進と評価

しおがま未来創生 プロジェクトの進捗状況

塩竈への愛着・誇りの醸成

重要目標達成指標（KGI）

基準値	前期計画 目標値	令和7年度 実績値	目標値
65%	70%	70%	80%

塩竈市に愛着や誇りを感じているかについて、「とても感じている」「まあ感じている」と回答した人の割合

すみよさ実感プロジェクト

基準値	前期計画 目標値	令和7年度 実績値	目標値
52%	57%	60%	70%

塩竈市は住みやすいまちだと思うかについて、「とても住みやすい」「住みやすい」と回答した人の割合

よろこび実感プロジェクト

基準値	前期計画 目標値	令和7年度 実績値	目標値
38%	43%	42%	50%

塩竈市での子育てに満足しているかについて、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

やりがい実感プロジェクト

基準値	前期計画 目標値	令和7年度 実績値	目標値
67%	72%	70%	80%

仕事の業種・職種、雇用形態、やりがい、賃金面について、「満足している」「どちらかといえば満足している」と回答した人の割合

にぎわい実感プロジェクト

基準値	前期計画 目標値	令和5年度 実績値	目標値
9%	14%	22%	20%

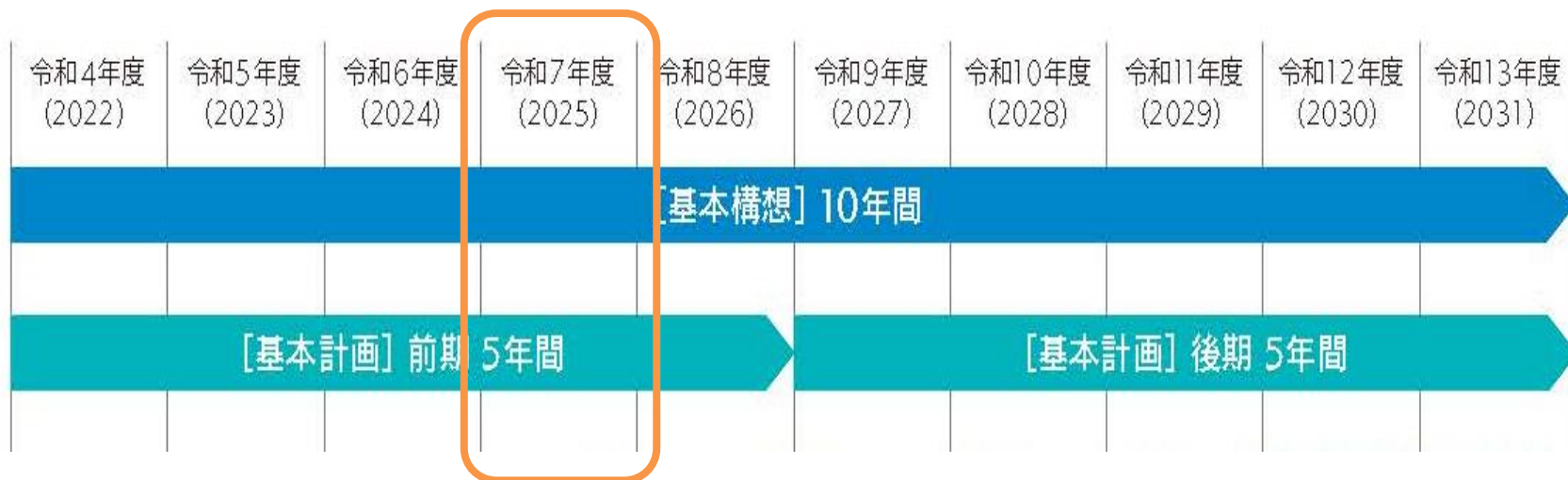
今後、塩竈市に住んでみたいと思うかについて、「ぜひ住んでみたい」「できれば住んでみたい」と回答した人の割合

5. 後期基本計画の策定に向けて

総合計画の構成と期間

基本構想で定める「まちづくりの目標」の達成に向けて、第6次長期総合計画より、基本計画を前期・後期に分け、社会情勢等の変化に対応できるよう想定しております。

そのため、令和7年度より前期基本計画で定めた施策の成果の検証を開始し、令和9年度からの後期基本計画への施策の展開に繋がります。





5. 後期基本計画の策定に向けて

長期総合計画審議会

前期基本計画5年間の総括を踏まえた後期基本計画策定に向け、施策体系や成果指標の見直しなど、取り組むべき課題について、それぞれの専門分野や市民目線でのご意見を頂きます。

施策体系

第1節 「妊娠」から「子育て」までの切れ目ない支援体制の構築

1 子どもと子育て世代への支援の充実

- ① 子育て世代包括支援センター「にこサボ」などを中心として、妊娠期から子育て期にかかる全ての子どもの健康、発達、育児などの相談体制の充実を図り、ワンストップで切れ目のない支援を行います。 よろこび
- ② 妊産婦健康診査や新生児訪問、乳幼児健康診査等を実施するとともに、産後も母親が心身ともに健やかな生活を送れるよう、さまざまな機会を活用した育児相談を実施するなど、産後ケアの充実に努めます。 よろこび
- ③ 中学生に向けて、子育ての大切さを知る体験学習に取り組み、命の尊さなどについて学ぶ機会を充実させます。 よろこび
- ④ 子ども医療費や妊産婦健康診査、不妊治療にかかる費用等の助成を行い、子育てに要する経済的負担の軽減を図ります。 よろこび

成果指標

NO	指標名		基準値	目標値	SDGs ローカル指標	備考
1	「子育て支援の充実」の満足度	よろこび	21.5% (令和元年度)	25% (令和8年度)		市民アンケート (市の取組評価)
2	乳児全戸訪問実施率	よろこび	100% (令和2年度)	100% (令和8年度)	3-6-1 健康	
3	待機児童数(年度当初)	よろこび	11人 (令和2年度)	0人 (令和8年度)	5-8-1 社会	
4	一時預かり保育利用者数	よろこび	935人 (平成30年度)	950人 (令和8年度)		
5	放課後児童クラブ待機児童数(年間最大人数)	よろこび	5人 (令和2年度)	0人 (令和8年度)		
6	児童相談終結件数		108件 (令和2年度)	108件 (令和8年度)	16-6-1 社会	
7	「授業の内容はよく分かる」と回答した児童生徒の割合	よろこび	①小学校 国語:85.7%(90.8%) 算数:84.7%(86.6%) ②中学校 国語:92.0%(90.3%) 数学:83.3%(83.7%) (令和2年度)	県平均を上回る 数値 (令和8年度)	4-8-1 教育	宮城県児童生徒学習意識調査 ※()内は仙台市を 除いた県平均
8	「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した児童生徒の割合		①小学校 95.5%(95.8%) ②中学校 96.5%(96.3%) (令和2年度)	県平均を上回る 数値 (令和8年度)		宮城県児童生徒学習意識調査 ※()内は仙台市を 除いた県平均
9	「今住んでいる地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合	よろこび	①小学校 66.5%(67.5%) ②中学校 62.8%(56.9%) (令和2年度)	県平均を上回る 数値 (令和8年度)		宮城県児童生徒学習意識調査 ※()内は仙台市を 除いた県平均
10	こどもほっとスペースづくり支援事業実施主体数	よろこび	3主体 (令和元年度)	6主体 (令和8年度)		
11	地域などが主体となった「放課後の居場所づくり」支援者数	よろこび	107人 (令和3年度)	450人 (令和8年度)		
12	「家庭教育」に関する学習を行い、理解を深めた人の割合		4.2% (令和3年度)	基準値を上回る 数値 (令和8年度)		生涯学習アンケート

5. 後期基本計画の策定に向けて

後期基本計画策定までの審議会の動き

令和7年度

令和8年度

第1回 (12月)

- ・ 長期総合計画の概要
- ・ 市民アンケート及び企業アンケート結果
- ・ 人口と産業の動向

第2回 (2月)

- ・ 前期基本計画の総括
- ・ 将来人口推計
- ・ 後期基本計画の方向性

第3回 (5月)

- ・ 後期基本計画素案審議
- 分野1 子ども
分野2 福祉
分野3 生活
分野4 産業

第4回 (6月)

- ・ 後期基本計画素案審議
- 分野5 交流
分野6 文化
分野7 協働
分野8 浦戸諸島

第5回 (8月)

- ・ 後期基本計画原案
- ・ 各指標の設定

前期基本計画の総括

後期基本計画策定に向けた審議